

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
21123	消防団ポンプ蔵置所耐震化事業	消防局	地域消防推進課	シートB	2
21312	防火防災訓練補償等共済事務	消防局	地域消防推進課	シートA	4
21321	防火指導事務	消防局	地域消防推進課	シートA	5
21321	みんなの消防フェスタ開催事業	消防局	地域消防推進課	シートA	6
21321	幼年少年消防クラブ育成事務	消防局	地域消防推進課	シートA	7
22121	松山市消防協会補助事業	消防局	地域消防推進課	シートA	8
22121	消防団管理事務	消防局	地域消防推進課	シートA	9
22121	消防出初式開催事業	消防局	地域消防推進課	シートA	10
22121	消防団被服貸与事務	消防局	地域消防推進課	シートA	11
22121	消防ポンプ操法大会開催事業	消防局	地域消防推進課	シートA	12
22121	消防団員報酬支給事務	消防局	地域消防推進課	シートA	13
22121	消防団施設維持管理事務	消防局	地域消防推進課	シートA	14
22121	消防団員等公務災害補償事務	消防局	地域消防推進課	シートA	15
22121	消防団員退職報償事務	消防局	地域消防推進課	シートA	16
22121	消防団員福祉共済制度補助事業	消防局	地域消防推進課	シートA	17
22121	愛媛県消防協会事務	消防局	地域消防推進課	シートA	18
22121	消防団車両機械購入事業	消防局	地域消防推進課	シートB	19
22121	消防団施設整備・営繕事業	消防局	地域消防推進課	シートA	21
22122	松山市女性防火クラブ連合会補助事業	消防局	地域消防推進課	シートA	22

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	担当者名	主査	寺井 健之	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	寺井 健之	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21123	消防団ポンプ蔵置所耐震化事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	市有施設の耐震化				市長公約				
取り組みの柱	その他の施設の耐震化								
総合戦略	基本目標	-							
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)			1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	大規模災害に備えるため、消防団の活動拠点となる消防団ポンプ蔵置所の耐震化を進めることで、地域の消防防災力を強化する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	阪神・淡路大震災で耐震性の低い消防施設が被害を受け、消防活動拠点としての機能を発揮することができなかったため、消防団拠点機能を強化するために開始した。								
対象・事業内容(誰に対して,何をするのか)	生石分団消防ポンプ蔵置所(繰越)、粟井分団消防ポンプ蔵置所(繰越)、難波分団消防ポンプ蔵置所、立岩分団消防ポンプ蔵置所 朝日建設株式会社、フモト建設株式会社、川本技研株式会社ほかへ工事請負費を支出								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	平成 22	～	令和 4	終期の種別	1:事業の終了時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		消防費		消防施設費		R2 予算措置時期	繰越	当初
				項	目	目	目					
				R元年度		R2年度		R3年度				
現計予算額(A) (単位:千円)				208,415		208,880		208,880		79,626		
決算額(B) (単位:千円)				100,762		133,713		133,713		79,626		
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0		0		
	県支出金			0		0		0		0		
	市債			98,000		118,800		118,800		70,500		
	その他			0		0		0		0		
一般財源			2,762		14,913		14,913		9,126			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				-		工事請負費126,590千円 委託料6,585千円 備品購入費475千円		-		工事請負費79,018千円 備品購入費608千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				-		決算額のうち93,848千円は前年度繰越分 流用による増あり		-		予算額のうち71,626千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		107,653		75,167		-		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	【現年】難波分団消防ポンプ蔵置所 立岩分団消防ポンプ蔵置所 【繰越】生石分団消防ポンプ蔵置所 粟井分団消防ポンプ蔵置所											
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			【現年】不測の日数を要し、年度内に完成しなかった。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		消防団の機能強化を進めたことで、消防体制の充実につながっている。							
事業の公共性	必要性	1		1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3		1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	地元との調整や用地の取得等に不測の日数を要し、年度内に完成することが困難である。											
R3年度の目標	繰越分2ヶ所を含む3ヶ所の蔵置所耐震化を目指す。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			難波、立岩分団及び中島神和分団二神消防ポンプ蔵置所の建て替え		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策		工事発注時期の見直しを行うとともに、次年度以降の準備を早期着手する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	旧耐震基準蔵置所数	棟	目標値	12	9	3	2	1	目標値	0	
			実績値	13	12	8			達成年度	未定	
			% 達成度	66.6	25.0	44.4					
	指標の種類	4:累計での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	全ての消防団ポンプ蔵置所を耐震性を有するものに建て替える。				
	本指標の設定理由	年度毎の事業実績を明確に示すことができるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		% 達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	耐震化率	%	目標値	88.2	91.0	96.8	97.8	98.9	目標値	100	
			実績値	87.5	88.2	91.8			達成年度	未定	
			% 達成度	99.2	96.9	94.8					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	全ての消防団ポンプ蔵置所を耐震性を有するものに建て替える。				
	本指標の設定理由	耐震化の進捗程度を示すことができるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		% 達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	不測の日数を要し、年度内に完成することができなかったことから、次年度以降は業務着手時期を早めるとともに、円滑化に努める。									
	成果指標	不測の日数を要し、年度内に完成することができなかったことから、次年度以降は業務着手時期を早めるとともに、円滑化に努める。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	市民防火担当	連絡先	926-9245		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	菅 直樹	担当者名	主事	難波江 美裕
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	市民防火担当	連絡先	926-9245		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	主幹	菅 直樹	担当者名	主任	亀岡 祥年

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21312	防火防災訓練補償等共済事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-		
施策	地域防災力の向上			主な取り組み	-		
主な取り組み	自主防災の充実・強化		市長公約	-			
取り組みの柱	自主防災組織の育成及び充実・強化			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	防火・防災訓練に参加した住民などがけがをした場合などの補償事務						
背景(どのような経緯で開始したか)	防災訓練などに参加する住民の補償の必要性から本制度を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市内人口で算出した防火防災訓練の災害補償掛金を共済(公財 日本消防協会)に負担し、補償対象事案があった場合に災害補償を支出する。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	57	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消消費		目	常備消消費	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度				
				R元年度	R2年度			R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				664	664			664	
決算額(B)(単位:千円)				514	514				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金		0	0			0	
		県支出金		0	0			0	
		市債		0	0			0	
		その他		0	0			0	150
		一般財源		514	514			514	514
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						負担金補助及び交付金514千円		負担金補助及び交付金514千円 災害補償金150千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	150		150		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	保険の掛金支払事務					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	本制度を活用する事故等は発生しなかったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安心して防災活動に取り組むことができたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	訓練時の安全管理の徹底		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	保険の掛金事務		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	市民防火担当	連絡先	926-9245	
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	菅 直樹	担当者名	主事 難波江 美裕
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	市民防火担当	連絡先	926-9245	
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	主幹	菅 直樹	担当者名	主任 亀岡 祥年

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21321	防火指導事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	地域防災力の向上			主な取り組み	-	
主な取り組み	防火・防災意識の向上		市長公約	-		
取り組みの柱	防火・防災意識の普及啓発			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市防災センター条例第1条第1項					
事業の目的(どのような状態にするか)	防火・防災に関する知識や火災発生時の初動体制を習得するため、防災センターの運営管理や消防広報紙を作成するなど、防火思想の普及を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	防火・防災に関する記事を掲載したチラシやパンフレットを作成し、啓発活動を強化する必要がある。また、災害発生時の正しい行動などを学習するスペースを確保するため、松山市防災センターを平成22年度から開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	広く市民に防火・防災思想の普及啓発を行うため、年間約6,000人が来館する防災センターの運営管理や消防広報紙「消防ネットまつやま」を発行する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 14	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期	
				項	目			当初	R3年度
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				13,106	1,012	302			
決算額(B)(単位:千円)				12,904	949				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0			
	県支出金			0	0	0			
	市債			0	0	0			
	その他			22	20	22			
一般財源				12,882	929	280			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				委託料712千円 需要費222千円 使用料及び賃借料1千円		需用費256千円 報償費18千円 旅費11千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	202	63			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、防災センターを一定期間閉鎖したり、消防訓練を急遽中止したことなどで、防災センターの入場者数は2,352人、地震体験車の試乗者数は2,096人であった。広報紙は、当初予定どおり1回(部数:5,000部)発行した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	防災センターや消防広報紙を活用し、防火・防災思想を普及啓発することができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	令和2年の火災件数は113件で、平成以降最も少ない数値となったため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、防災センターを一定期間閉鎖したり、消防訓練を急遽中止する場合などが考えられる。					
R3年度の目標	防災センター入場者数:3,000人 地震体験車試乗回数:2,000人 広報紙の発行回数:年1回(部数5,000部)	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	防災センター入場者数:3,000人 地震体験車試乗回数:2,000人 広報紙の発行回数:年1回(部数5,000部)	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	防災センターの来場者に対し、検温、アルコール消毒、室内換気等を徹底する。	

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	市民防火担当	連絡先	926-9245			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	菅 直樹	担当者名	主事	難波江 美裕	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	市民防火担当	連絡先	926-9245			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	主幹	菅 直樹	担当者名	主任	亀岡 祥年	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21321	みんなの消防フェスタ開催事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-			
施策	地域防災力の向上					主な取り組み	-			
主な取り組み	防火・防災意識の向上				市長公約					
取り組みの柱	防火・防災意識の普及啓発									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等										

事業の目的(どのような状態にするか)	多くの市民に防火・防災への関心を高めてもらうとともに、自主防災組織や女性防火クラブをはじめとする民間防火組織の輪を広げることが目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	消防活動への理解を深め、防火・防災への取り組みの重要性などを多くの市民に楽しみながら学んでいただく場面がなかったため、このイベントを開始した。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	防火・防災関連ブースのほか、消防車両の試乗、ロープ渡りなど、各種消防体験コーナーを設置し、広く市民に防災啓発を行う。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期		当初
				項	目			R2年度	R3年度	
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					162		147			130
決算額(B)(単位:千円)					159		21			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0			0
	県支出金				0		0			0
	市債				0		0			0
	その他				0		0			0
一般財源					159		21			130
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						報償費21千円		需用費106千円 報償費24千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	3		126			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	みんなの消防フェスタの開催										
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		防火・防災啓発に寄与している。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	多くの市民に安心して来場していただくため、新型コロナウイルス感染防止策を徹底する。										
R3年度の目標	来場者数 : 約10,000人			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			来場者数 : 10,000人		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		各地区や町内で開催される防災訓練、防災講演会などでも、消防フェスタの内容を盛り込み、防火防災への関心を高めてもらう。

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	市民防火担当	連絡先	926-9245	
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	菅 直樹	担当者名	主事 難波江 美裕
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	市民防火担当	連絡先	926-9245	
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	主幹	菅 直樹	担当者名	主任 亀岡 祥年

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21321	幼年少年消防クラブ育成事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-	
施策	地域防災力の向上					主な取り組み	-	
主な取り組み	防火・防災意識の向上				市長公約			
取り組みの柱	防火・防災意識の普及啓発							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-						
	施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等								
事業の目的(どのような状態にするか)	幼稚園・保育園の園児や小学生の児童を対象に、正しい火の取り扱いの指導や消防の仕事に理解を深め、防火・防災思想の普及啓発を行うことを目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	幼年消防クラブ:昭和55年に制度発足 少年消防クラブ:昭和25年に制度発足							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市内の園児や児童を対象に、防災紙芝居教室の開催をはじめ、一日消防学校の開校、また、消防イベント「みんなの消防フェスタ」への参加を促す。							
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	昭和	52	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期	当初
				項	目				
				R元年度	R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					71		64		57
決算額(B)(単位:千円)					71		32		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
一般財源					71		32		57
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						需用費32千円		課償費15千円 需用費42千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	0		32		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	一日消防学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。園児を対象にした防災紙芝居教室等は、15園(受講者数:1,458人)で実施した。新規事業として、新型コロナウイルスの感染予防や防火・防災に関する内容をテーマにしたかるたの絵札を少年消防クラブがデザインした。このかるたを使って、幼稚園等で「かるた大会」を開催し、新型コロナウイルスの感染予防をはじめ、火事や地震などから命を守ることの大切さを学習した。							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	文字だけでなく、絵やイラストを交えて楽しみながら防災指導を行うことができたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	次代の地域防リーダーの確保につながるため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	一日消防学校や防災紙芝居教室等に安心して参加していただくため、新型コロナウイルス感染防止策を徹底する。							
R3年度の目標	一日消防学校への参加者数:100人 防災紙芝居教室等開催園:40園	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	一日消防学校への参加者数:100人 防災紙芝居教室等開催園:40園	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	各種事業の参加者に対し、検温、アルコール消毒、室内換気等を徹底する。			

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名 消防局	課等名 地域消防推進課	担当グループ名 消防団担当	連絡先 926-9229
	部等長名 中矢 洋造	課等長名 長谷川 深	リーダー名 主幹 玉井 公	担当者名 主査 土手 慎也
令和2年度	部局等名 消防局	課等名 地域消防推進課	担当グループ名 消防団担当	連絡先 926-9229
	部等長名 中矢 洋造	課等長名 高岡 昌文	リーダー名 副主幹 玉井 公	担当者名 主任 芳野 めぐみ

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	松山市消防協会補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約	-		
取り組みの柱	消防団の充実強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	松山市消防協会規約					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防職団員の品位を向上し、融和親睦を保ち、消防諸施設の改善並びに消防活動の連絡強化を進め、消防事業の進歩発展に寄与することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	上記目的を達成するために制定された松山市消防協会規約(昭和30年)に定められた事務を適正に執行するために開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	松山市消防協会会員(松山市消防職員・消防団員で構成) 消防職団員の品位の向上、消防活動の進歩・発展を進めるため、消防に関する調査研究や機器改良、教育訓練等への支援を行うとともに、防火思想の普及啓発に取り組んでいる松山市消防協会に補助金を支出する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	昭和 30	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				1,200	1,200				1,200
決算額(B)(単位:千円)				1,200	1,200				1,200
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金		0	0				0
		県支出金		0	0				0
		市債		0	0				0
		その他		0	0				0
		一般財源		1,200	1,200				1,200
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					補助金1,200千円		補助金1,200千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		0	0				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	職員の消防に関する調査研究や機器改良、団員の教育訓練や事業に対する支援、防火思想の普及啓発を行う松山市消防協会へ補助金を支出					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初の目標どおり、消防職・団員の消防に関する調査研究や訓練、事業などの支援及び防火思想の普及啓発を達成できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		防火思想の普及啓発、消防職員の消防に関する調査研究や機器改良、消防団員の教育訓練等の支援を行うことで、消防職・団員の品位の向上を進めるとともに、消防事業の進歩・発展に寄与することができているため。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	消防学校入校者 20人 消防団員募集広告掲載 2回 ホームページ更新 12回 消防機器改良・開発研究 4件 教育訓練会等 5回	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		教育訓練の支援 消防団員の加入促進 職員の機器改良・調査研究 防火思想の普及啓発 ホームページ更新による情報発信 その他本会の目的達成に必要な事業	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	担当者名	主任	芳野 めぐみ	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	芳野 めぐみ	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防団管理事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約	-		
取り組みの柱	消防団の充実強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第6条～第9条					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防団業務を的確・迅速に行うことで、市民生活の安全を確保する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	消防組織法に定められた消防団事務を適正に執行するために開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	消防団員を対象とする。 消防団員の訓練や研修会・会議等出席による市内旅費、消防団協力事業所表示証のプレート購入、また、緊急時の船舶や重機の使用料など、消防団の活動に必要な経費を支出する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	非常備消防費	R2予算措置時期	
				項	目			当初	繰上
				R元年度	R2年度			R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					1,710		1,793		1,496
決算額(B)(単位:千円)					1,849		805		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0			0		0
	県支出金			0			0		0
	市債			0			0		0
	その他			233			17		360
	一般財源			1,616			788		1,136
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					役員費221千円 需用費290千円 旅費114千円		役員費255千円 需用費203千円 旅費809千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等					流用による増あり				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	-139		988		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	愛媛県消防学校への入校、教育訓練や機動重機訓練の実施 ・消防団員の訓練等にかかる市内旅費の支払い					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	感染症拡大の状況から中止とした行事があったが、消防団員の資質向上のため必要な訓練は可能な限り実施できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防体制の充実強化に寄与している。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・大規模災害対応への機動重機部隊、赤バイ隊の更なる強化 ・女性分団、大学生消防団員の避難所活動に関するスキルアップ					
R3年度の目標	消防団業務を適切に管理し、迅速・的確に業務を行うことで、市民生活の安全を確保する。専門的な教育を受けることで、複雑多様化する消防行政の各分野に対応できる人材を育成する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・教育訓練会や会議等の開催 ・消防団協力事業所の認定 ・機動重機訓練の実施 ・各種教育訓練会、上級救命講習会、応急手当指導員講習の実施、愛媛県消防学校への入校など		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策
大規模災害時に機能的に対応できるよう各種訓練を実施する。また、事業実施時は、検温、アルコール消毒、室内換気等の対策を徹底する。						

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	担当者名	主査	寺井 健之	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	寺井 健之	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防出初式開催事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約	-		
取り組みの柱	消防団の充実強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令, 条例, 個別計画等	消防組織法第8条					
事業の目的(どのような状態にするか)	市民と消防関係団体が一堂に会し、「災害に強い安全なまちづくり」を誓い合うとともに、関係団体の団結力、規律、士気の高揚と市民への消防思想の普及啓発を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	江戸時代の町火消の「出初」「初出」に由来する伝統行事を適正に開催するために開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	市民や関係団体及び消防団員を対象とする。 例年1月、堀之内公園で消防関係機関が一堂に会し、「災害に強い安全なまちづくり」に向け、市民への消防思想の普及啓発を行っている。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	非常備消防費	R2予算措置時期	当初
				項	目				
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					2,716		2,798		2,909
決算額(B)(単位:千円)					2,863		490		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
	一般財源				2,863		490		2,909
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						報償費162千円 需用費208千円 原材料費120千円		委託料1,800千円 旅費398千円 需用費283千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による減あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	-147		2,308		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	消防出初式開催に向けて準備を進めたが、感染症拡大を考慮して中止とした。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	消防防災体制の充実強化と市民の防火防災への意識を高めることを目的としていたが、開催中止となったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもいえない		左記の理由	開催中止となったため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	令和2年度は感染症拡大の状況から中止としたため、今後開催に向けての対策が必要。					
R3年度の目標	参加者数1,900人		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・出初式の開催 ・消防関係行事等での事前PRや広報活動	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	事業実施時は、マスクの着用、検温、アルコール消毒、室内換気等の対策を徹底する。 なお、中止となった場合は、可能な限り他の会議等の機会を利用して表彰状の伝達を行う。

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	担当者名	主査	土手 慎也	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	芳野 めぐみ	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防団被服貸与事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約	-		
取り組みの柱	消防団の充実強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等 消防組織法第23条第2項、松山市消防団条例第11条、松山市消防団規則第9条。松山市消防団員の服制等に関する規程

事業の目的(どのような状態にするか)	消防団員に必要な被服を貸与し、消防活動時の安全を確保する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	消防組織法に定められた消防団事務(服制)を適正に執行するために開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	消防団員を対象とする。 消防団員が災害現場などで安全に活動するために必要な被服等を貸与する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		非常備消防費	R2予算措置時期	当初
				項	目			
				R元年度	R2年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					11,986	8,807		8,807
決算額(B)(単位:千円)					12,104	8,761		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			2,871	0	0		0
	県支出金			1,750	1,500	1,700		1,700
	市債			0	0	0		0
	その他			280	154	0		0
一般財源				7,203	7,107	7,107		7,107
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					需用費8,761千円	需用費8,807千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等					流用による減あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	-118	46		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	現場活動等に必要な被服等を消防団員に貸与する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	消防団員に必要な被服等の貸与ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防団員に必要な被服等の貸与ができた。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	現場活動に必要な被服を遅滞なく貸与する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	現場活動に必要な被服を遅滞なく貸与する。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	担当者名	主査	寺井 健之	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	寺井 健之	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防ポンプ操法大会開催事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約	-		
取り組みの柱	消防団の充実強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第8条					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防活動の基本となるポンプ操法の大会を開催し、消火活動の技術を向上させる。					
背景(どのような経緯で開始したか)	消防団員が技術向上のために取り組んでいる全国的な大会である消防操法大会を適正に開催するために開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	消防団員のうち、消火活動を行う団員を対象とする。2年に1回、愛媛県消防学校大規模訓練場で、松山市の大会を開催する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		非常備消防費	R2予算措置時期	当初
				項	目			
				R元年度	R2年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				1,544	0	0		
決算額(B)(単位:千円)				1,510	0	-		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0		
	県支出金			0	0	0		
	市債			0	0	0		
	その他			0	0	0		
	一般財源			1,510	0	0		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				-		-		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				隔年開催のため実施なし		令和2年度から延期した県大会が行われるため本事業の実施なし		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	34	0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	競技方式とし順位を付けることで更なる技術力向上を目指す。上位入賞チームは愛媛県大会へ出場する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	隔年開催のため事業なし。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもいえない	左記の理由	今年度事業なしのため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	令和2年度から延期した県大会が行われるため、令和3年度の本事業は実施しない。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	令和2年度から延期した県大会が行われるため、令和3年度の本事業は実施しない。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策	特になし。	

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	担当者名	主査	土手 慎也	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	芳野 めぐみ	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防団員報酬支給事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約	-			
取り組みの柱	消防団の充実強化			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第23条第1項(消防団員の身分取扱い等)・消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律第13条						
事業の目的(どのような状態にするか)	消防団員に対し適正に手当や報酬を支給することを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	消防組織法に定められた消防団事務(報酬の支給)を適正に執行するために開始した。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	消防団員を対象とする。 ・消防団員が災害等に出勤した場合の出勤に対する費用弁償を支給 ・車両機械管理者にポンプ管理報酬を支給 ・年間を通じた消防団活動全般に対しての年報酬を支給						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	39	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		非常備消防費	R2予算措置時期	
				項	目		当初	
				R元年度	R2年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				148,330	147,941	146,983		
決算額(B)(単位:千円)				140,071	107,197	146,983		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0		
	県支出金			0	0	0		
	市債			0	0	0		
	その他			0	0	0		
一般財源				140,071	107,197	146,983		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				報酬107,197千円		報酬146,983千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	8,259	40,744		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・消防団員が災害等に出勤した場合の出勤に対する費用弁償を支給 ・車両機械管理者にポンプ管理報酬を支給 ・年間を通じた消防団活動全般に対しての年報酬を支給					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適正な報酬支給事務を行った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもいえない	左記の理由		経常的な経費であるため		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	条例に基づく適正な事務を遂行する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	法律及び条令に基づき,消防団員の手当や報酬を支給する。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	玉井 公	担当者名	主任	芳野 めぐみ
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	玉井 公	担当者名	主査	土手 慎也

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防団施設維持管理事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約	-		
取り組みの柱	消防団の充実強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第18条					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防団の活動拠点となる消防ポンプ蔵置所や消防団車両の維持管理を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市消防団規則(昭和39年)に定められた消防団事務(施設の整備)を適正に執行するために開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	消防団ポンプ蔵置所(102ヶ所)、消防団車両(115台) 消防団ポンプ蔵置所や消防団車両が適正かつ有効に活用できるよう維持管理を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		非常備消防費	R2予算措置時期	当初	
				項	目				
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				15,072	15,030	15,225			
決算額(B)(単位:千円)				15,284	13,610				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0			
	県支出金			0	0	0			
	市債			0	0	0			
	その他			222	230	541			
	一般財源			15,062	13,380	14,684			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				需用費10,875千円 役務費898千円 使用料及び賃借料1,308千円		需用費12,347千円 役務費944千円 使用料及び賃借料1,310千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による減あり					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	-212	1,420			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	消防団ポンプ蔵置所及び消防団車両の維持管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初の予定どおりの事務を行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防団ポンプ蔵置所及び消防団車両の機能を損なうことなく維持することで、消防力の確保につながった。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	時期を逸することなく適正に管理する。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	消防団ポンプ蔵置所及び消防団車両の維持管理	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	玉井 公	担当者名	主査	土手 慎也	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	玉井 公	担当者名	主任	芳野 めぐみ	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防団員等公務災害補償事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約	-		
取り組みの柱	消防団の充実強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令, 条例, 個別計画等	消防組織法第24条、消防法第36条の2						
事業の目的(どのような状態にするか)	消防団員及び消防作業従事者が消防活動で負傷した場合、本人またはその家族の生活の安定を守り、福祉を向上させることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	消防組織法に定められた消防団事務(非常備消防団員に対する公務災害補償)を適正に執行するために開始した。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	消防団員及びその家族、消防作業従事者及びその家族に対する公務災害補償を行うため、消防団員等公務災害補償等共済基金へ支払う掛金を負担する。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和	41	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		非常備消防費	R2予算措置時期		
				項	目		当初		
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					10,703	10,703	10,245		
決算額(B)(単位:千円)					8,227	8,244			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0	0	0		
	県支出金				0	0	0		
	市債				0	0	0		
	その他				1,578	1,595	3,596		
一般財源					6,649	6,649	6,649		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						災害補償費1,595千円 負担金補助及び交付金6,649千円	災害補償費3,596千円 負担金補助及び交付金6,649千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	2,476	2,459			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	消防活動で負傷した消防団員等への損害補償					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初の予定どおりの事務を行った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない	左記の理由	経常的な経費であるため			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	条例に基づく適正な事務を遂行する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	消防活動で負傷した消防団員等への損害補償を行う。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	担当者名	主査	土手 慎也	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	土手 慎也	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防団員退職報償事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約	-		
取り組みの柱	消防団の充実強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第25条					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防団員が退職する場合、退職報償金を支給し福祉を充実させる。					
背景(どのような経緯で開始したか)	消防組織法に定められた消防団事務(非常勤消防団員に対する退職報償金)を適正に執行するために開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	消防団員を対象とする。 消防団員が退職する場合、退職報償金を支給する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	昭和 39	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		非常備消防費	R2予算措置時期	
				項	目		当初	
				R元年度	R2年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				95,357	101,567	94,651		
決算額(B)(単位:千円)				84,665	86,304			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0		
	県支出金			0	0	0		
	市債			0	0	0		
	その他			40,027	41,531	50,037		
一般財源				44,638	44,773	44,614		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				報償費41,741千円 負担金補助及び交付金44,563千円		報償費50,087千円 負担金補助及び交付金44,564千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	10,692	15,263		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	退職した消防団員に退職報償金を支給					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	該当者に適正に退職報償金を支給できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない	左記の理由	経常的な経費であり、消防体制の充実の関連性が低い			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	条例に基づく適正な事務を遂行する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	退職した消防団員に退職報償金を支給	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	担当者名	主査	土手 慎也	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	芳野 めぐみ	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防団員福祉共済制度補助事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	安全に暮らせる環境をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	消防・救急・救助体制の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	地域消防力の強化				市長公約					
取り組みの柱	消防団の充実強化									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	消防団員が死亡し、又は事故及び疾病等により入院した場合に「弔慰金」「障害見舞金」「入院見舞金」などを支給する消防団員等福祉共済への掛金の半額を補助金として支出し、消防団員の福祉の増進を目指す									
背景(どのような経緯で開始したか)	危険を顧みず活動する消防団員の福祉増進を目的とし、(公財)日本消防協会が取り扱う福祉共済制度に加入した。(昭和48年)									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	消防団員及びその家族を対象とする。 松山市消防協会へ掛金の半額を補助金として支出する。 公私を問わず、消防団員が死亡・入院などをした場合、遺族援護金、障害見舞金、入院見舞金等の給付を行う。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)	昭和	44	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	非常備消防費	R2予算措置時期	
				項	目			当初	
				R元年度	R2年度			R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				3,341			3,345		3,333
決算額(B)(単位:千円)				3,333			3,315		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0			0		0
	県支出金			0			0		0
	市債			0			0		0
	その他			0			0		0
	一般財源			3,333			3,315		3,333
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						負担金補助及び交付金3,315千円		負担金補助及び交付金3,333千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	8		30		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市消防協会へ補助金を支給 消防団員やその家族に、見舞金、遺族援護金などを給付する。								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適正な事務を行うことができた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない		左記の理由	経常的な経費であり、消防体制の充実に関連性が低いため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし								
R3年度の目標	適正な事務の執行		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	松山市消防協会へ補助金を支給 消防団員等への見舞金等を給付			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	担当者名	主任	芳野 めぐみ	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	芳野 めぐみ	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	愛媛県消防協会事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約			
取り組みの柱	消防団の充実強化					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						

事業の目的(どのような状態にするか)	消防職・団員の消防知識技術の向上と県民の防火防災意識を高めることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	上記目的を達成するために設立された愛媛県消防協会(昭和24年)に加入し、事務を開始した。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	県下の消防職・団員及び県民を対象とする。 (公財)愛媛県消防協会へ負担金を支出 愛媛県消防大会や操法大会の開催、民間防火組織の表彰、消防団合同訓練などの地域防災力を向上させるための事業を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	昭和 24	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		非常備消防費	R2予算措置時期		
				項	目		当初		
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					2,922	2,774	2,693		
決算額(B)(単位:千円)					2,822	2,479			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0			
	県支出金			0	0	0			
	市債			0	0	0			
	その他			0	0	0			
一般財源				2,822	2,479	2,693			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					負担金補助及び交付金2,479千円	負担金補助及び交付金2,495千円 旅費198千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	100	295			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	防火・防災活動に尽力した少年消防クラブ、自主防災組織などの民間防火団体を表彰し、更なる防火・防災意識の高揚を推進する。 消防団の活性化、充実強化を推進するため、研修会、訓練を実施する。 地域防災力を向上させる事業を展開するため、負担金を支出する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年度当初の予定通り事業を行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民生活の安全・安心に寄与する。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	隣接市町消防団合同訓練 5名参加 女性消防団員研修会 10名参加 女性消防団員体力錬成大会 20名参加 消防団員指導員研修会 2名参加 正副団長消防長研修会 13名参加 未来の消防団加入促進事業(高校訪問) 年間3件実施	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	(公財)愛媛県消防協会へ負担金を支出及び協会からの依頼事項に基づく事務の適正な執行	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	玉井 公	担当者名	主任	芳野 めぐみ	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	玉井 公	担当者名	主査	土手 慎也	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防団車両機械購入事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域消防力の強化		市長公約	-		
取り組みの柱	消防団の充実強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第18条					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防団車両の更新や、資器材を配備することにより、消防団の消防救助能力を維持強化することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市消防団規則(昭和39年)に定められた消防団事務(施設の整備)を適正に執行するために開始された。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	消防団車両(115台) 小型動力ポンプ(23台) 自動二輪車(5台)ほか 車両更新計画に基づき老朽更新を行うとともに、必要な資器材の配備を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		消防施設費		R2 予算措置時期		
				項	目	当初	6月補正			
				R元年度	R2年度	R3年度				
現計予算額(A) (単位:千円)					86,754	106,305	77,239			
決算額(B) (単位:千円)					76,667	102,416				
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			2,592	0	0				
	県支出金			0	0	0				
	市債			68,000	101,200	77,000				
	その他			0	900	0				
一般財源				6,075	316	239				
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					備品購入費102,258千円 旅費130千円 役員費28千円	備品購入費77,050千円 旅費146千円 役員費43千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等					6月補正で1,000千円追加 流用による減あり					
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)	10,087	3,889				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	【車両更新】 消防ポンプ自動車3台 小型動力ポンプ積載車2台 小型動力ポンプ軽積載車2台 【資器材】 小型動力ポンプ1台 ワンタッチアルミ水槽4台(6月補正)					
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	補助金を受けることができ、当初計画に加えワンタッチアルミ水槽を整備することができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防団の機能を強化することで、消防体制の充実につながっている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	計画に基づいた消防車両の更新	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	以下の車両,資器材の更新 消防ポンプ自動車2台 小型動力ポンプ付積載車1台 小型動力ポンプ軽積載車2台 小型動力ポンプ2台	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	救助資機材搭載型車両台数	台	目標値	28	33	41	46	52	目標値	114	
			実績値	28	34	41			達成年度	未定	
		%	達成度	100.0	103.0	100.0					
		指標の種類	3:累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	全ての消防団車両を救助資機材搭載型とする。			
		本指標の設定理由	年度毎の事業実績が明確に示せるため								
			目標値						目標値		
	実績値								達成年度		
	%		達成度								
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
		本指標の設定理由									
			目標値						目標値		
	実績値								達成年度		
%	達成度										
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	救助資機材搭載型車両化率	%	目標値	24.3	28.6	35.9	40.3	45.6	目標値	100	
			実績値	24.3	29.5	35.9			達成年度	未定	
		%	達成度	100.0	103.0	100.0					
		指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	全ての消防団車両を救助資機材搭載型とする。			
		本指標の設定理由	進捗程度を明確に示すことができるため。								
			目標値						目標値		
	実績値								達成年度		
	%		達成度								
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
		本指標の設定理由									
			目標値						目標値		
	実績値								達成年度		
%	達成度										
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	予定していた台数を更新、救助資機材搭載型化し、消防体制の強化につながった。									
	成果指標	予定していた台数を更新、救助資機材搭載型化し、消防体制の強化につながった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-9229		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	担当者名	主査	寺井 健之	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	消防団担当	連絡先	926-929		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	寺井 健之	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22121	消防団施設整備・営繕事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	安全に暮らせる環境をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	消防・救急・救助体制の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	地域消防力の強化				市長公約					
取り組みの柱	消防団の充実強化									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等		消防組織法第18条								
事業の目的(どのような状態にするか)	消防団の充実強化活動拠点施設である消防ポンプ蔵置所の経年劣化等に伴い、改修・改築時期に達しているものを整備する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市消防団規則(昭和39年施行)に定められた消防団事務(施設の整備)を適正に執行するため開始した。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	消防団ポンプ蔵置所(102ヶ所) 有限会社山博建設、新光通信工業株式会社、有限会社相原建設ほかへ工事請負費を支出									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期						

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		R2予算措置時期		当初
				項	目	R2年度	R3年度	
				R元年度		R2年度		R3年度
現計予算額(A)(単位:千円)				9,967		3,200		7,131
決算額(B)(単位:千円)				10,250		2,507		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		2,000
	県支出金			0		0		0
	市債			4,700		0		0
	その他			0		0		0
	一般財源			5,550		2,507		5,131
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						工事請負費2,507千円		工事請負費7,031千円 報償費100千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-283		693

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	消防団ポンプ蔵置所、水防倉庫の改修及び補修							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年度当初の予定どおり事業を行うことができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防体制の充実に寄与している。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし							
R3年度の目標	消防団ポンプ蔵置所及び水防倉庫の損傷を改修し、施設全般の維持管理を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	消防団ポンプ蔵置所及び水防倉庫の損傷を改修し、施設全般の維持管理を行う。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	市民防火担当	連絡先	926-9245			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	長谷川 深	リーダー名	主幹	菅 直樹	担当者名	主事	難波江 美裕	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当グループ名	市民防火担当	連絡先	926-9245			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	高岡 昌文	リーダー名	主幹	菅 直樹	担当者名	主任	亀岡 祥年	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22122	松山市女性防火クラブ連合会補助事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	地域消防力の強化				市長公約				
取り組みの柱	女性防火クラブの充実強化								
総合戦略	基本目標	-							
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	松山市女性防火クラブ連合会則								

事業の目的(どのような状態にするか)	多くの市民に防火・防災への関心を高めてもらうとともに、自主防災組織や女性防火クラブをはじめとする民間防火組織の輪を広げることが目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	火災を減らすためには、各家庭の台所(こんろ)を預かる主婦に火災予防思想を普及させることが重要であると考え、地区単位で婦人防火クラブを立ち上げ、昭和55年10月に松山市婦人(現在は、女性に改称)防火クラブ連合会を設立した。この団体には、市内一円で防火啓発活動を幅広く行う観点から、昭和56年度から補助金制度を開始した。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	クラブ員の活動を通して、広く市民に火災予防思想を普及させるため、補助金を支出する。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	昭和	55	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				1,750	1,750				1,750
決算額(B)(単位:千円)				1,750	1,750				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金	0	0				0
			県支出金	0	0				0
			市債	0	0				0
			その他	0	0				0
			一般財源	1,750	1,750				1,750
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					負担金補助及び交付金1,750円		負担金補助及び交付金1,750円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	0	0				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	自主防災組織や消防団等の防災関係機関と連携した訓練を15回実施した。 園児等への紙芝居教室等を15回(受講者数:1,458人)実施した。 非常食(カンパンやアルファ米等)を身近にある食材を使ってよりおいしくするメニューを考案し、各地区の研修会や訓練で実践した。 少年消防クラブが作製した「かるた」を使い、園児に新型コロナウイルスの感染予防や防火・防災についての啓発活動を実施した。								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	非常食のローリングストック(回転備蓄)の拡大につながる事業であるため。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民の防火・防災意識を高める活動のため。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、防災紙芝居教室や防災訓練等を止むなく中止する場合が考えられる。								
R3年度の目標	園児等への紙芝居教室等開催回数:40回 火災予防に関する啓発活動回数:100回	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	園児等への紙芝居教室等開催回数:40回 火災予防に関する啓発活動回数:100回	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	各事業実施時は、検温、アルコール消毒、室内換気等を徹底する。				